

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL
21

2010

◎特集 最先端設備を備えた3号館完成



患者から学び、患者に還元する病院

愛媛大学医学部附属病院

PETによる、がんの早期発見と病院の治療レベルの向上を

放射線部部长 PETセンター長 望月輝一 医師

PET（陽電子放射断層装置）とは、がん細胞が大量のブドウ糖を取り込むという性質を利用し、ブドウ糖の代謝が活発な箇所を画像上で分かるようにする最先端のがん検査機器です。現在、国内の多くの医療機関で導入が進められており、がんの治療の戦略を立てる上で、なくてはならないものです。

今回、当院に導入されたPET/CTは、県内では最も新しい機種で、従来より更に精度の高い検査結果を得られるようになりました。ただ、器機だけが高度になっても、求められる結果は得られません。PETの高度化に伴って、その診断には豊富な経験が必要となります。当センターでは、日本核医学会より認定を受けた専門医が診断にあたり、より早く、より精度の高い診断を行うことができます。PETは、がん治療の方針を決定する上で非常に役立ちます。がんの進行

状態を把握した上で治療の戦略を立てることができ、治療経過の観察にも有効です。人間ドックでの利用も始まっており、がん細胞の有無を全身くまなく検査することが可能です。

PET利用が増えれば、当院全体のがん治療のレベルは必ず向上します。機会ある毎にPETの素晴らしい点について説明し、がんの早期発見やがん治療に役立ててもらえるよう動いていきたいと考えています。



PROFILE

もちづきてるひと◎1980年愛媛大学医学部医学科卒業。世界に先駆けて新しい解析方法を考案し、その評価を行うなど放射線科専門医として活躍する。たまの休日は、ロードタイプの自転車でサイクリング。

メンバーの協力と工夫で、世界最先端の治療を

呼吸器センター長 佐野由文 医師

現在、呼吸器疾患も多岐にわたり、40～50年経って症状が出る肺の病気も増えました。そのため、本院では呼吸器センターを4月に新設し、新しい形での診療体制をスタートさせました。ここでは、診療科の垣根を越え、呼吸器各分野のエキスパートの医師（呼吸器外科3名、呼吸器内科2名）が呼吸器に関する疾患を組織的に診る体制をとっています。それぞれの得意分野を生かし、診断の段階から知恵を出し合い、最善の治療を探っていきます。カンファレンスでは、放射線治療や心臓外科の専門医なども加わり、各専門医の立場や視点に立って意見を述べ、それを総合して、患者さんにとっての最適な治療方法を選択していきます。

私が常に目標としているのは、どんな疾患で

あろうと、患者さんにとって日本中で最高の医療が受けられる場所であるべきということです。病状や年齢などの理由のために手を施せないとされていた患者さんを、治療方法の工夫と医師団の協力により、1人でも多く助けること、またそれによって、さらにノウハウが増え、スキルが上がり、我々でないとできないことを成し遂げたいと考えています。



PROFILE

さのよしふみ◎1985年山口大学医学部卒業、医学博士。岡山大学医学部附属病院講師、独立行政法人国立病院機構岩国医療センター胸部外科部長などを経て、2010年から同職。趣味はフットサルと音楽鑑賞。

介護者
支援ボランティア

本院では「国立大学法人愛媛大学と東温市との連携に関する協定書」に基づき、6ヶ月の準備期間を経て、22年度から介護者支援ボランティア活動を開始しました。

東温市、東温市老人クラブ連合会会員及び愛媛大学医学部附属病院のボランティア登録スタッフ（21名）が連携して、介護者の要請により、外出時のご家族の見守り、話し相手、健康相談等の活動に当たっています。1回当たりの活動時間は約2時間程度ですが、登録スタッフは特別休暇の承認を得て勤務に支障のない範囲で活動しています。東温市では65才以上が人口の23.6%（21年9月現在）と高齢化が進んでいますが、高齢者も安心して暮らせる東温市をめざす上での新たな取り組みに、地元からは今後の活躍が大いに期待されています。

編集後記

猛暑の中、皆さんお元気ですか。愛媛大学病院は最新鋭設備を備えた3号館を竣工しました。3号館では小児総合医療センター、手術部の拡充エリアに加えて、臨床薬理センターと抗加齢・予防医学センターが設置され、既に稼働を始めています。また新たにPETセンター、呼吸器センターもスタートしました。私達の願いは患者さんから愛され頼られる病院を作り上げることです（週刊ダイヤモンド誌の“たよれる病院ランキング”で本院が四国第一位の評価を得ました）。

◎愛媛大学医学部附属病院広報委員会
委員長 檜垣貴男

◎表紙の人
臨床薬理センターのスタッフ
— 3号館の前にて —



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel.089-964-5111 (代)
ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>